



加治丘陵だより

平成27年 5月18日

第 22 号

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

E-mail iruma@npo-kajikyuryo.net URL <http://npokajihozen.seesa.net/>

平成27年度に向けて

理事長 大山 博



理事長に就任して早や1年。昨年度は事故もなく、入間市および一部民間企業契約先のノルマはすべて完遂した。60歳代の若い会員の精力的活動によって、効率的、技術的にも充分満足ある成果が収められた。有難く厚くお礼を申しあげたい。また3副理事長の分掌により、各役員とともに運営に率先していただいております、感謝している。

本年度も委託契約規模は例年並みと推測されるが、「さとやま計画」も順調にすべり出しており、その変化や委託先のニーズに瞬時に応えるべく、情報をいち早くキャッチして大きな成果とともに、内外からの高い評価が得られるよう努めていきたい。

私の持論である「組織的運営」は業務推進、事務管理、人事管理の3つのボールのバランスであると思う。一つでも「イビツ」があれば丸いボールは前に進めない。リーダーはこのバランスをしっかりと常に配慮し、重視しなければならない。

さらに会員増強に努め早急に200名体制を整えたい。これから先もより大切なのは会員同士の「絆」である。なんでも話合える、意見を言い合える、そんな雰囲気が大切である。酒を酌み交わすもよし、共通の趣味を活かすもよし、折角のこの「出会い」を大切にしていきたい。

本年度も作業班、機械整備班を中心に下草刈り、伐採、間伐などの作業活動は進められ、約9万㎡の作業面積が見込まれている。作業現場では事故防止は無論、計画的、効率的に明るく、前向きに取り組んでこそ立派な成果につながると思う。作業安全委員会のリードのもと基本的に徹底した事故防止に努め、一方、研修班を中心に森林視察研修や動力機械操作の研修にも力を注いでいきたい。また、総務会計班はノン伝票システムを開発して、会計事務所と効率的に事務処理を進めている。そして完成された「長期5ヵ年計画」を着実に実行していきたい。

最後に通称「ほうれんそう」の報告、連絡、相談こそ組織の運営には重要で、本年度もこれをモットーにして進めていきたい。さあ、この出会いを、このチャンスを生かして共にがんばりましょう!!。

第22号発刊に寄せて

入間市環境経済部長 山崎 利明



昨年の11月、環境経済部長に着任いたしました山崎利明と申します。

NPO法人加治丘陵山林管理グループの会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、今年3月には、これまで貴団体の加治丘陵山林管理業務での活動が評価され、第16回彩の国埼玉環境大賞「優秀賞」を受賞されましたこと、大変おめでとうございます。この受賞を機にますますのご活躍をご期待申し上げます。

さて、入間市では、平成5年度から加治丘陵の公有地化事業を進めており、平成26年度末には「加治丘陵さとやま計画」区域424haのうち、約101.3ha、約23.9%を取得でき、公有地化面積も100haの大台に載せることができました。

年々増加する公有地の保全には、NPO法人加治丘陵山林管理グループの皆様の下草刈り、枯損木・危険木の伐採等の管理作業とともに、加治丘陵の間伐材を活用した階段・道標・橋作りなどの卓越した技術は欠かすことのできないものと考えております。階段・道標等は、加治丘陵を散策する大勢の方から好評を得ております。

加治丘陵の豊かで多様な自然は、市民の共有財産であることから、今後も同丘陵の管理・保全には貴団体のお力添えをいただき、市と市民の協働のお手本となるべく事業を推進していきたいと考えております。結びに、会員の皆様方のご多幸と今後のご活躍を祈念し、ご挨拶といたします。

平成26年度実績

延作業日数：109日、延作業人員：1,279名、延作業時間：4,392時間
下草刈り：101,453㎡、伐採：470本、遊歩道階段：345段(2箇所)
棧道の架け替え：9 m 1 本、ベンチ：2 基

当初予定した作業はすべて終了した。

平成26年度は特に伐採本数が多かったこと、また、階段と棧道は地の利の悪い場所での力仕事が続いて困難な作業が多かったが、会員の皆さまの協力により、無事終了したことに感謝します。

平成27年度予定

草刈り：約9万㎡、伐採（皮むき）：約200本
ベンチ：2基、丸太橋：1 基

前年度に比し伐採が減り、下草刈りの定期作業地区が増加する予定。また、自然災害発生時の対応はその都度となるが、迅速な対応を求められるのでその時は、よろしく協力願います。

作業者の年齢も年々高くなっております。事故のない元気で楽しい1年にしたいと思います。また、入会希望の方の一報をお待ちしています。



刈り払い機による下草刈り
クズがからむ



遊歩道階段敷設工事
(仏子大日向)



同左 185段が完成



害虫病の桜の伐採切断
(桜山展望台)



切断後の大木を人力で搬出



市のダンプカーによる
みどりの課との協働搬出作業

安全教育研修

4月19日(日) 今までで最も多い26名(女性2名を含む)が参加。前半はさとやま管理事務所で砂川研修班長・菱川作業班長によるオリエンテーション、日常業務の安全についての講習あり、続いて農村環境改善センター会議室にて、入間消防署救急班・松尾班長ほか4名のご指導により座学研修と救急手当、救急搬送、AEDの使用について実務訓練を行った。毎年、繰り返し実施しているが、今回は新入会員も多く有意義な研修となった。



第16回彩の国埼玉県環境大賞 優秀賞 受賞!!

首題の懸賞論文に当グループが応募した結果、優秀賞の受賞に輝いた。去る3月20日(金)さいたま市の知事公館にて上田清司知事より表彰状、テレビ埼玉社長より記念品を授与された。応募件数59組あり、大賞2、優秀賞8、奨励賞8組が選ばれた。当グループからは大山理事長、菱川副理事長が出席。一昨年、公益財団法人都市緑化機構の懸賞論文で「緑の都市賞」を受賞したが、今回もこれに続く快挙であった。(理事長 大山博)

続いて3月30日(月)大山理事長ほか4名が田中龍夫入間市長にこの受賞を報告。市長より祝福を受けるとともに、今後のさらなる活動を期待された。この場面は入間ケーブルテレビのニュース番組でも報道され、最後に大山理事長がインタビューを受け当グループの活動状況について説明した。



左より上田知事、菱川副理事長
大山理事長、平本テレビ埼玉社長



左より菱川副理事長、小林理事、平岡副理事長
大山理事長、田中市長、清水監事

グループ活動に参加して



会員No.413 はにゅう 埴生信一

私は金沢市で生まれ育ち、海外も含む転勤生活を経て1987年より入間市に住んでおります。若いころより山登りが好きで、登山道の整備についてもずっと興味を持っておりました。昨年このこのグループの活動を知り、早速参加させていただくことにしました。

この1年間、諸先輩のご指導のもと、楽しく山仕事の経験を積ませていただきました。今後も更なる経験を積みながら、多くの人々に楽しんでいただけるように、この丘陵の整備に尽力して行きたいと思っています。末長くよろしく願いいたします。



会員No.416 石森 典子

「薄っすらと咲く山桜、新緑に萌える山並み……私にとって一番美しいと思うのは仏子の山です」これは学生時代に離れてしまった友人からの手紙でした。私もそう思います。幼少から親しんできた加治丘陵に、今、携われることに、私の未来へとタンポポの種を飛ばしてくれた友人へ感謝しています。そしてこの丘陵を大切に育み、私もまた風のにせて、タンポポの綿毛を飛ばせていけたらいいなあ……と思っています。

新入会員ご紹介

会員番号 氏名(敬称略) 4月20日入会まで

433	近藤 文治	434	飯島 五郎	435	鈴木 邦夫
436	杉原 夏子	437	小島 孝夫	438	林 正伸
439	水谷 好江	440	澤田 豊	441	久下 栄 <small>くげ</small>
442	石月 宏	443	大場 烈夫 <small>いさお</small>	444	朝倉 直明 <small>ただあき</small>
445	宮坂 春幸				

入会のお誘い

- = 会員になって活動を支えて下さい。 =
- 我々はボランティアで活動しています。
 - 180名の会員が汗を流して頑張っています。
 - 年会費 正会員(個人) 2,000円
賛助会員(会社又は団体) 1口10,000円
 - 加入連絡先 04-2932-4515 (大山 博)

木下博会員 駿河台大学公開講座で講演

昨年12月20日(土)駿河台大学 秋の公開講座「彩・ふるさと喜楽学」にて当グループの木下博会員(駿河台大学客員教授・前入間市長)が「加治丘陵 保全と利用物語」というテーマで、当グループ会員15人を含む約150人の聴衆を前に90分間の講演を行った。加治丘陵の歴史的な成り立ちから、21年前に市長就任当初、地主と何度も対話して全面的緑地化に決定した時の苦労話、そして公有地化を推進したが、その保全に当グループが当たることになり安堵したとのこと。今後は100年先を見て、時代の要求に応じて変化して行かねばならないと語った。

【わたしの趣味】加治丘陵を自転車で楽しむ 会員No.415 石森英実

私はマウンテンバイクが趣味で、休日にはこれに乗って加治丘陵の散策に出かけます。

仏子の自宅から武蔵野音大の坂を登り、旧サイクリング南コースに入り桜山展望台、金子神社、七国峠まで行き、北コースを通過して帰るのが定番コースとなっています。

当グループの作業した場所の確認や、野鳥の声、草花の観察をしながら農村環境改善センターに向きます。旧サイクリングコースは「旧」と呼ばなくても、今でも十分に使用できます。ただし、急坂があるので軽いギヤーのある自転車と体力が必要です。特に北コースはアップダウンが多いが、入間川に延びる尾根があり、そこからは私の住む町がよく見えます。そして飯能市民球場に延びる尾根は切り立った崖になっているが、展望が良くスリルも味わえて、春にはチゴユリの花や私の大好きな野鳥のキビタキを見ることが出来ます。また、上仏子星山会、どんぐりの会、仏子山親緑会などの活動エリアがあり、それぞれの展望の良い場所にベンチが設置されていて、そこからの景色もお勧めです。

自転車で山に入ることには多少の心苦しい点もありますので、加治丘陵の環境保全に当グループの活動を通して役立てればと、時間の許す限り作業に参加したいと思っています。



イベント報告

- 忘年会 12月5日(金) 市民会館フローレンスにて開催。
多数のご来賓と会員 計46名が出席。大いに親睦を深めた。
- 新年会 1月31日(土) 市民会館フローレンスにて開催。
来賓と会員 計58名と大勢が出席。
- お花見 4月4日(土) 愛宕公園 池の端広場にて開催。
来賓と会員 計36名出席。桜は見ごろであったが、あいにくの寒さに昼食後は会館内和室に移動、和やかに語りあった。
- 楽山ゴルフ会 4月17日(金) 埼玉ロイヤルGC
15名参加、関谷 稔会員がグロス87、ネット73.8のスコアで初優勝。

お知らせ

- 第13回通常総会 6月20日(土) 14:00~ 於 市民会館3階1号室
引続き講演会15:20~ 講師:入間ケーブルテレビ(株) 代表取締役社長 荻野喜美雄様
テーマ:地元メディアからのメッセージ。その後16:30~懇親会予定。
- 森林視察研修 9月6日(日) 明治神宮 代々木の杜定員40名(観光バス) 申し込み順で締切ります。
- 暑気払い(納涼花火の夕べ) 7月28日(火) 17:00~ 例年通り彩の森入間公園池の畔。
- 第4回いるま環境フェア 6月14日(日) 10:00~16:00 産業文化センター 当グループ出展します。
- カブトムシとり大会 7月12日(日) 予定

~編集後記~ 2月8日(土)駿河台大学でNHKのプロデューサー井上恭介氏による、「里山資本主義」なる講演会があり聴講してきた。飯能、日高、滑川地区に声がかかったものだが、驚いたことに定員600人が満席だった。岡山の真庭市などの例をあげて、森林資源をいかに活用して過疎地域の活性化を図るかという話であったが、広大な森林を有する近隣の人たちが真剣に話を聞いていた。加治丘陵の将来の活用についても一考を要するのではと思った。(編集委員長 小林貞治郎)

発行責任者: 大山 博 〒358-0053入間市大字仏子1397-3 ☎04-2932-4515